

朝を  
ひらく

五十肩のお陰で、腰痛が治った。ええ!? でも本当の話である。10年前、右肩に軽い痛みが走った。車の後部座席に置いたカバンを取ろうとした時である。それが後の3年間にわたる五十肩との凄まじい付き合いになることは、思いもしなかった。

医院へのハシゴが始まった。鍼灸へも行った。「永田さん、肩より腰のほうが深刻ですよ」と医者が出した。でも不思議なこと、20年来の腰痛は消えていたのである。「引き寄せの法則」というものがある。この法則では、自分が意

## 引き寄せの法則

永田 円了  
真国寺住職



識を向けるものすべてを引き寄せるといふ。私の場合、五十肩の痛み集中した結果、注目を得られなくなった腰痛が、活動するエネルギーを失ったと考える。

この法則で注目すべきは、望む「こと」、望まない「こと」にかかわらず、自分が意識を向けるものすべてが引き寄せられることである。いやなことは考えないで、おこう、という考えも、いやな「こ

と」に意識を向けたことになり、引き寄せてしまう。ということでは、望む「こと」のみに意識を集中させ、望まない「こと」に意識を向けなければいいということになる。

マザー・テレサは、平和運動には積極的でも、決して反戦運動には参加しなかった。反戦を叫べば、叫ぶほど「戦争」に意識(エネルギー)を与えることを知っていたからである。

そう言えば、ジョン・レノンも反戦運動はしなかった。カナダ・モントリオールでベッドインし、歌「平和を我らに(Give Peace a Chance)」をつくった。ダライラマ14世も、祖国を追わ

れ、インドに亡命しなければならなかった怒りを口にすることはなかった。むしろあの温和な表情で平和を語った。

先月、延べ15年間の自宅軟禁から解放されたミャンマー民主化指導者のアウン・サン・スー・チーさんが語る言葉に胸を打たれる。「手荒な手段をとってきた政府と、どう対応するのか」との記者の質問に、「重要なのは平和のための交渉、これまでのことを恨む気持ちはない」と、スー・チーさんは答えた。怒りは怒りの連鎖を引き起こし、感謝は感謝を呼び寄せる。世界の偉人たちは、皆この引き寄せの法則を知って行動しているのだろうか。

さて、五十肩は3年後に完治した。案の定、腰痛が待っていたかのように暴れた。痛い、引き寄せたくない。

## 望む「こと」だけに集中